

緊急雇用創出事業（緊急雇用創出事業臨時特例基金） 伊勢湾海底の健康診断緊急雇用創出事業

水野知巳・藤原正嗣

目的

緊急的に雇用を創出するとともに、資源管理に資するため、伊勢湾沿岸域の二枚貝類の分布を把握する。

方法と結果

桑名沖と松阪沖に設定した 80 測点において、2010 年 9 月および 12 月に、潜水して 0.2 m²の面積の底泥を採集した。目合い 1mm のふるいに残った二枚貝類を測定し、種ごとの殻長組成を調べた。また、35 測点では採集した底泥を用いて、粒度組成（中央粒径、泥分率）、強熱減量、化学的酸素要求量、全硫化物量も調べた。

なお、粒度組成は JISA1204 に、強熱減量、化学的酸素要求量、全硫化物量はそれぞれ環水管 127 号（環境庁 19

88 年 9 月 8 日付底泥調査法）の II-20, II-17, II-4 にしたがって分析した。

近年高水準のアサリの発生が続いていた桑名沖であるが 2010 年初夏の低塩分によるアサリの斃死もあり、本調査ではアサリ稚貝の発生は低調であった（図 1）。一方、松阪沖では、2009 年秋季に発生したアサリ稚貝が 2010 年 9 月には 10mm 前後に（図 2）、12 月時点では 15mm 前後に成長し、河口周辺では m²あたり 300 個体を越える高密度で分布していた。

参考文献

三重県水産研究所・モリエコロジー（2011 年 3 月）生物・底質調査業務委託報告書

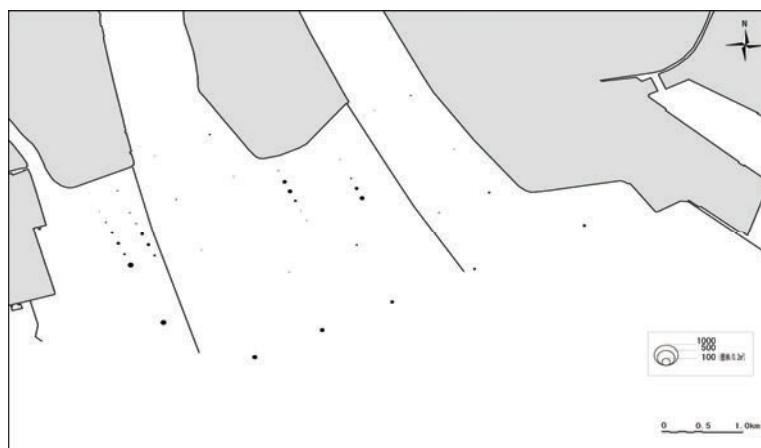


図 1 桑名沖のアサリの分布（2010 年 9 月）

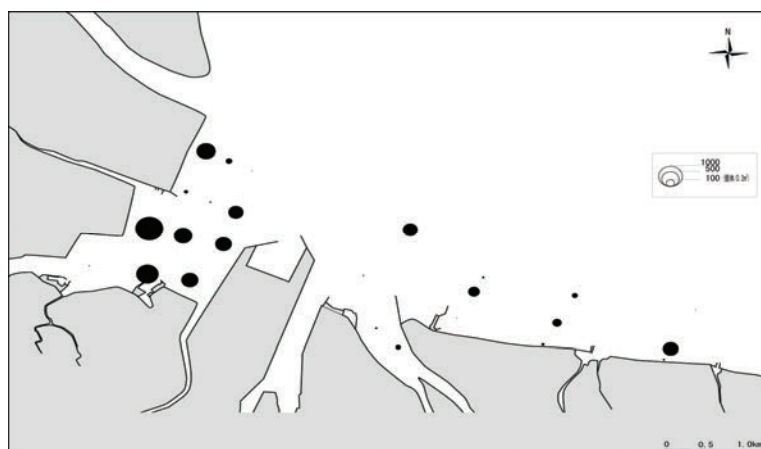


図 2 松阪沖のアサリの分布（2010 年 9 月）